

新着図書案内

歴史

○教科書の常識がくつがえる！

最新の日本史 河合 敦/著(青春出版社)

壬申の乱、廃藩置県、ノモンハン事件など、日本史のターニングポイントとなった7つの事件を、最新の学説で興味深く解説します。

○一冊でわかるインド史

○一冊でわかるスペイン史

各国の歴史を、読みもの風に関わりやすく案内。



○中野京子『名画で読み解く』シリーズ

『プロイセン王家12の物語』

『ハプスブルク家12の物語』

『ブルボン王朝12の物語』

『ロマノフ家12の物語』

『イギリス王家12の物語』

血族の争い、愛憎、裏切りと暗殺、栄華と滅亡などヨーロッパの王家・王朝の歴史を、12枚の絵画とともにたどるシリーズ。



社会問題

○国籍の？がわかる本

日本人ってだれのこと？外国人ってだれのこと？

「日本人＝日本国民」ではない。日本で生まれて日本語を話す外国人、外国で生まれて日本語が話せない日本人、両親の片方が外国人など、さまざまな人が暮らす現代の日本。あらためて「〇〇人」や「国籍」について考える本。

○まんがでわかる社会心理学 (カンゼン)

「炎上」するSNS、人間性すらも変える「ブラック企業」、人間の本質が現れる「あおり運転」など、個人や団体の「心理と行動」がわかります。

○男女平等はどこまで進んだか

女性差別撤廃条約から考える

国際女性の地位協会/編(岩波書店)

家庭や職場、地域、社会の現状と課題を解説。

○人工知能時代を生き抜く子どもの育て方

神野元基/著(ディスカヴァー21)

子どもたちが「人工知能時代」を生き抜くために、まず大人が知っておきたいこととは？



いきもの・動物

○生物はなぜ死ぬのか 小林武彦/著(講談社)

遺伝子に組み込まれた「死のプログラム」の意味とは？

○WHAT IS LIFE? 生命とは何か

ポール・ナース/著(ダイヤモンド社)

ノーベル賞を受賞した生物学者が語る生命の本質。

○恋するいきもの図鑑

○愛して育てるいきもの図鑑

○その道のプロに聞く生きもののワオ！

生きものたちのおもしろい行動・生態を紹介。

○どんな咬み犬でもしあわせになれる

ポチパパ・ドッグメンタリスト北村紋義/著(角川)

“ワル犬”たちを再生させた

愛と涙の実話。



日本の小説

○わたしの本の空白は 近藤史恵/著(角川)

記憶喪失で目覚めた女性。何も思い出せないのに心は何かを知っている。衝撃のサスペンス小説。

○スイッチ 悪意の実験 潮谷 駿/著(講談社)

ある実験で、自分と無関係な家族を破滅させるスイッチが与えられる。純粋な悪意は存在するのか？

○その扉をたたく音 瀬尾まいこ/著(集英社)

ミュージシャンをめざす無職の青年が、老人ホームで出会った奇跡の物語。

○リボルバー 原田マハ/著(幻冬舎)

ゴッホは本当にピストル自殺したのか？美術史の謎に迫るミステリー小説。



○本心 平野啓一郎/著(文藝春秋)

近未来の日本。最新技術で母を再生させた息子は、「自由死」を選んだ母の本心を探ろうとする。

○竜とそばかすの姫 細田 守/著(角川)

現在公開中のアニメ映画の小説版。

○吉原十二月 松井今朝子/著(幻冬舎)

遊郭に売られてきた二人の少女。互いを意識し競い合いながら成長する姿を絢爛に描く。

○スケルトン・キー 道尾秀介/著(角川)

生まれつき恐怖の感情がない青年が、自分自身の出生の秘密を知り、連続殺人に手を染めていく。

○化学探偵Mr. キュリー⑩ 喜多喜久/著

○科警研のホームズ③ 喜多喜久/著

科学ミステリー・シリーズの新刊。